

## 第2回 共同生活援助 インディペンデンス 地域連携推進会議 議事録

### 1 開催日時・場所

令和8年1月26日、14時00分から障害者支援施設明朗塾会議室において第2回共同生活援助、インディペンデンス地域連携推進会議を開会した。

### 2 出欠の記録

当日の出席状況は以下のとおりである。

会議の構成員	ご所属・氏名	出欠記録
障害のあるお客様（選定必須）	M・N様	○
利用者ご家族様（選定必須）	K・Y様	○
地域の関係者様（選定必須）	小椋善光様	○
福祉に知見のある人（選定任意）	社会福祉法人りべるたす グループホームマネージャー 天野喜彦様	○
経営に知見のある人（選定任意）	株式会社グッドライフ 代表取締役熊木正嗣様	○
施設等所在地の市町村担当者（選定任意）	八街市役所 福祉部 障がい福祉課 主任主事 小松正博様	○
会議の運営に必要な職員	共同生活援助 インディペンデンス	○

### 3 議事次第について

#### 理事長あいさつ

社会福祉法人光明会の理事長小澤啓洋より開催あいさつを行った。

#### 1 第1回地域連携推進会議からの近況報告

1) 第1回地域連携推進会議議事録もとづき協議された事案に対する実施報告について第1回共同生活援助インディペンデンス地域連携推進会議議事録より事業管理者文違明香から説明を行った。

##### 【M・N様】

・12月に実施したXmas会がとても楽しかった。寿司とかを食べられたのがとても良かった。プレゼントもあってとてもうれしかった。

##### 【K・Y様】

・前回のトイレの修繕については完了したこと、感謝したい。息子もXmas会が本当に楽しかったと喜んでいて。様々な企画をしてくれることは感謝したい。

##### 【小椋善光様】

・前回参加し、地域でBBQとかもやりたいと感じた。インディペンデンスの子供たちが喜ぶ姿を見たいと感じる。そのような機会があれば皆も自分の話を出来る場になるのでは。やはり我々が黙っていることが一番良くない。どんどん話しかければ良いと感じる。

##### 【K・Y様】

・知らないことは怖さに繋がる。自分も息子に障害があると分かるまでは偏見や差別がある人間と感じた。健常者じゃなくてはいけないと感じている人もまだ多くいると思う。もっと社会に触れる機会があれば良いと感じる。

【天野喜彦様】

・花火大会、本当に素晴らしかった。地域と関われる場が多くあることはとても素晴らしいと感じる。前回のトイレの修繕については気になっていたので回答が聞けて良かった。早急な対応方針は信頼に繋がると感じた。

【熊木正嗣様】

・トイレの修繕は全額法人が負担しているとのこと、これも重要な決断であると感じた。BBQの話はとても良いと感じた。施設というだけで地域に壁を作ってしまうように感じる。だからこそ我々から発信することが重要であると感じた。虐待におけるグリーゾーンへの対応、取り組みについても現況を聴くことが出来て良かった。

【小松正博様】

・グリーゾーンへの対応については協議いただいたことがわかり良かった。今後の虐待に関するアンケートについてもグリーゾーンの支援に関する意識を振り返り、変えていくものになることを期待したい。その中でお客様が守られるように、職員も守られる仕組みや活動にも期待したい。

## 2 施設概要の説明

共同生活援助インディペンデンス重要事項説明書等より施設概要について、夜間時の人員配置について、緊急対応時の対応について、BCP、虐待防止委員会、身体拘束化適正委員会の取り組みについて事業管理者文違明香より説明を行った。

【M・N様】

・体調が悪い時に職員がいないと困る。自分から電話は出来る。対応してもらえている。

【K・Y様】

・この件については特に意見はない。

【小椋善光様】

・資料を見て大丈夫だと感じた。

【天野喜彦様】

・夜間対応、何もなければ現状問題がない仕組みであると感じた。しかし。感染症が出た時や緊急時における対策については引き続き協議が必要であろう。一部、お部屋に公衆電話を設置していることはとても参考になった。

【熊木正嗣様】

・お部屋にはセコムが設置しているとのこと。住居者が上手く活用が出来ないのであれば対応も考える必要があるのでは。公衆電話があっても使用できない人がいるのでは。使用方法の共有も必要だと感じた。

【小松正博様】

・共有いただいた名簿の生年月日と年連の記載に誤りがあった。緊急時の資料であれば見直す必要がある。サービス利用説明書についても改訂箇所が多々あったので見直しを求めたい。

## 3 地域連携推進員による施設見学

### 1) 見学エリアについて

・2コースに分かれて各拠点の見学を実施した。実施後、地域連携推進員から意見を求めた。

【K・Y様】

・グループホームを利用してから息子の成長をととても感じる。考え深く思っている。自宅にいる時より格段に成長している。親からではなく様々な方から伝え、教えてもらうことが成長に繋がると強く感じた。

【小椋善光様】

・しっかりやっている感じた。お部屋がとても綺麗であると感じた。女の子は綺麗にしているかなと感じていたが男の子のお部屋もすごく綺麗であった。あと見学したお部屋の方々がみんなウエルカムなのが嬉しかった。

【天野喜彦様】

・支援員がずっといるグループホームであってもお部屋の清掃は難しい。その中でとても綺麗に清掃されていると感じた。グループホームは地域で生活をしていく事が目的であること、そのためにも地域に馴染む形であることが大切だと感じた。

【熊木正嗣様】

・お部屋がとても綺麗であった。自分たちの住む場所を自分たちで綺麗にしようとする意識を感じた。また、開かれた施設であることもとても感じた。公衆電話があることでの振り込め詐欺などのリスクに対する防止対策も必要であると感じた。

【小松正博様】

・グループホームの中を見ることは初めてだった。市役所職員がグループホームに寄って意見交換できることは事業所との信頼関係にもつながると感じた。見学時、リビングで2名の利用者がお茶を飲んでいた。とても明るく、落ち着いた印象で今後、グループホームの説明をする時の良いイメージになった。

#### 4 その他

参加者から意見はなかった。

以上をもって16時30分、本日の地域連携推進会議を閉会した。